

令和4年度第2回市民参加推進・評価会議 会議要旨

1 日時	令和4年7月8日（金） 午後3時00分～4時00分
2 場所	大和市役所 地下 旧食堂
3 出席者	委員6人（長谷部 美由紀 委員（会長）、青木 俊介 委員、岩本 翠 委員、 近藤 憲之 委員、芝原 重喜 委員、中丸 ちづ子 委員） 事務局4人（政策部長、政策総務課長他2人）
4 傍聴人数	0人
5 議題	（1）諮問 （2）議事 ①令和3年度市民参加手続の実施状況について ②その他
6 議事要旨	・大木市長から「令和3年度市民参加手続の実施状況に対する総合評価について」の諮問が行われた。 ・会議資料に基づき、事務局から説明を行った。 ・事務局からの説明の後、質疑応答及び意見交換を行った。
7 会議資料	・資料 1：令和3年度市民参加手続の実施状況 ・資料 2：令和3年度審議会等委員の公募実施状況

【主な質疑等】

- 委員：3施策で意向調査が実施されているが、いずれも回答率が30～40%と高くなっており、多くの方の反応があったのは良かったと思う。
- 委員：意見公募手続では意見者数が少ないものがいくつかあるが、実施にあたってどのような周知を行ったのか。
- 事務局：広報やまと市のホームページで掲載しているほか、市内の公共施設に資料の配架も行っているが、コロナ禍もあって施設で入手した人は少なかったと想定される。市民参加手続の周知にあたっては、より多くの方に情報が届く方法を検討する必要があると考えている。
- 委員：近年では、スマートフォンで情報を得る人も多くなっているため、スマートフォンを活用した情報提供が検討されると良いと思う。
- 委員：審議会等委員の公募状況について、公募人数と応募人数が同数程度のものが多いが、何か理由はあるのか。
- 事務局：経験者の応募が多い審議会等もあることから、同数程度のものが増える傾向にある。より多くの方に参加いただく方法を検討していく。
- 会長：審議会等の名称だけでは応募を検討しにくいのではないかと。
- 委員：健康ポイントを活用するなど、インセンティブをつけられれば応募も増えるのではないかと。

事務局：インセンティブをつけられるような新たな手法を取り入れられるか検討して
いきたいと考える。

委員：最近パンフレットなどが手元に届かなくなったと感じており、市民に確実に届く方法を考える必要があると思う。市内の掲示板や回覧板などは比較的目に留まりやすいのではないか。

事務局：市民参加手続の実施にあたっては、情報を届けることはもちろん、意見をいただくことが重要であると考えている。広報主管課とも調整し、情報提供の方法等を検討していく。

以上